

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	特定看護師による胃ろう交換のメリット ～管理上のトラブルに対する看護ケアの実際～
研究責任者	鈴木 千佳代
研究実施体制	聖隷浜松病院 看護部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2024年 1月
対象者	特定看護師が胃ろうに関する相談で対応した患者さん
研究の意義・目的	看護師特定行為は、チーム医療の推進のための看護師の役割拡大などを目的に制度化が進んできています。急性期病院においても、胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換（以下胃ろう交換）の特定行為が行われております。特定看護師による胃ろう交換は、処置を行うのみでなく、ケアの方法や患者さんの栄養状態の評価など幅広い視点での介入が必要です。今回特定看護師として胃ろう管理上のトラブルに対する看護ケアの実際をまとめ、今後の特定看護師の実践にいかしていきたいと考えています。
研究の方法	電子カルテから以下の項目を調査します。 交換回数 診療科 年齢 性別 体重 胃ろうからの漏れの有無 ろう孔周囲の皮膚障害の有無シャフト長の調整の有無 排便状況 胃ろう管理上のトラブル件数を調査して、特定看護師の役割について考察します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 (氏名) 鈴木千佳代 TEL : 053-474-2222 (代表) 9:00～17:00 平日